

## 基本となる予防策

**感染源を断つ**…すべての関係者について、健康状態を確認、検温を実施。

**基本的予防策の徹底**…手洗い、うがい、マスクの着用、手指消毒を徹底。

**「3密」の回避**…換気、ソーシャルディスタンスの確保、密になりやすい箇所における事前対策の徹底

## 1 感染源を断つ

- すべての関係者について、来会2週間前からの体調記録を徹底、ID交付時に検温とともに確認する。
- 更衣室・談話室等、密集しやすい場所は掲示、声掛け等により分散を図る。
- 受付及び健康チェックカウンターでは、マスク、フェイスガード及びビニールカーテン等を使用し、感染予防を徹底する。

## 2 感染防止の3つの基本

### 身体的距離の確保

- 開会式、表彰式及び閉会式は簡素化し、地元中学生の運営協力は見送る。
- 表彰の際は、入賞者が賞状やメダルを自分でお盆から取り、握手等は控える。
- 代表者会議は実施しない。
- リンクサイドの選手待機席及びコーチエリアは、間隔をあけて待機するよう配置を工夫する。

### マスクの着用

- 会場内は競技中以外のマスク着用を原則義務付け、咳エチケットの徹底及びソーシャルディスタンスの確保を呼び掛ける。

### 手洗い等の徹底

- 施設内のトイレ、給湯室等手洗い場で既に設置済みの石けん・アルコール等を使用し、こまめに手洗いを行うよう周知する。
- 各自ハンカチ・マイタオルを持参するよう周知し、ペーパータオルは設置しない。

## 3 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避

### 会場使用

- 選手1名あたり保護者2名まで入場・観覧を認める。
- 学校観戦は、密にならない座席の配置、選手と接触しない導線の確保に配慮する。
- 保護者および学校観戦を除く一般観戦者の入場は、認めない。
- 観客席を控室とし、選手団・学校観戦にエリア分けし、座席は1つおきに着席禁止を表示する。
- 選手のウォームアップ・控えスペースとして、2階及び3階のホワイエを使用可能とする。

### 更衣室

- 使用する更衣室を増やし、公式練習または競技のグループごとに使用する更衣室を指定する。
- 更衣室は競技前後の着替えのみ行い、室内の滞在時間は最小限とする。
- コロナ対策チームが館内を巡回し、要注意個所の消毒、感染防止に関する注意喚起を行う。

### 会場内での密の回避

- 学校観戦がある日については、あらかじめ観覧席を区切り、掲示等により選手等に周知する。
- 学校観戦入館時に観戦者と選手等が近接しないよう、導線を工夫する。
- ミックスゾーンは選手及び報道の双方が密にならないよう取材エリアを可能な限り広げる。

### 換気

- 定期的に2階観客席入口ドア、2階及び3階ホワイエの開閉可能な窓の開放を行う。
- 更衣室はグループごとに使用時間を定め、各グループの使用時間後に換気及び消毒を行う。
- 特に密になりやすい箇所については、扉の常時開放、サーキュレーターの設定等による換気対策を講じる。

## 4 安全な活動環境等の確保

- 長野県、長野市及び市保健所等の行政機関、また協力医療機関等と連携し、緊急時の連絡体制を確立する。
- 競技役員用に手指消毒アルコール、手袋等を準備するほか、ジャッジ席に間仕切りを設置する。
- 選手への花、プレゼント等は実行委員会で受け取らない。
- 原則としてごみは持ち帰ることとし、更衣室、談話室、ロビー、ホワイエ、観客席にはごみ箱を設置しない。

## 5 競技運営上の配慮

- 報道関係者は最小限の人数で取材を行う。特にミックスゾーンでは選手と取材者、および取材者同士が適切な距離を取るよう注意する。

